

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 12月 3 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 花咲楼		
所在地	広島市東区尾長東2丁目6-34 (電話) 082-568-7007		
自己評価作成日	平成24年10月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100348-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年11月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>相手の立場に立って考え安易な介護はせず、残存機能の保持に努める。 家庭的な雰囲気を大切にし、入居者様とのふれあいを重視する。 可能なかぎり在宅に近い生活リズムを尊重する。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>当事業所は、同グループが運営・隣接する「GHかぐや姫」と連携しながら、運営理念「相手本位の心」の実現に向けて全職員で取り組んでいる。事業所の特色として、①家庭的な雰囲気の中で利用者一人ひとりの持てる能力を大切にし、その保持に努める。②レクリエーションを2つのユニットで合同で行う等、職員間のコミュニケーションを密にし関係を深め、利用者本位のサービスの充実を図る。③利用者一人ひとりの外出支援を家族とも連携しながら実現していく。④職員の研修に力点を置き、接遇マナーや介護技術等、事業所内・外の研修に取り組んだり、ターミナルケアに向けた心身・技術の研修の実施。等4点が挙げられると共に、職員は笑顔で利用者に寄り添い、利用者本位のサービスに努められている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	相手の立場に立って考え、無理強いする事なく安心して介助させて頂ける様に努めています。	事業所の運営理念「相手本位の心」を事務所に掲示し、全職員で確認・共有して実践につなげている。また、ミーティングで「利用者一人ひとりの立場に立ったサービス」を基本に、具体的なケアについても、職員間で意見統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	9月にはホーム主催のお祭りを開催し、ボランティアの方や地域住民の方との触れ合いを持つようにし、近隣の保育園のイベントにも積極的に参加させていただいています。	町内会の定例会に「GHかぐや姫」の管理者と交代で出席し、盆踊りや地域行事、近隣の保育園行事にも積極的に参加する等し、地域とのつながりを大切にしている。また、ホーム主催の秋祭りを、地域住民やボランティア、家族の協力を得ながら実施する等、地域との交流が盛んに行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	散歩に出かけた時に地域の方とお話しをするように心がけています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議で出された改善点は速やかに改善するようにし、会議では発言しやすい雰囲気心掛けています。	運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催され、家族や町内会長、地域包括センター職員、法人代表等が参加して、活発な意見交換がなされ、それらは運営に活かされている。また、家族会や研修会を兼ねたりして、会議の充実を図る工夫をしている。	市の担当者の参加がないので、運営推進会議の案内や報告書を持参する等し、日頃から協力関係を築くなど会議への参加要請が期待される。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	あまり取り組めていません。	日頃は地域包括支援センターと主に連絡をとりあっている。市担当者に運営推進会議への出席案内や報告をし、協力関係を築くように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	居室の鍵は入居者の意志でのみ閉じて頂くようにしており、その他、薬、拘束具での拘束は一切行っておりません。	事業所内研修を行い、「認知症の理解」や「身体拘束をしないケア」等、職員の意識付けが図られている。また、「身体拘束マニュアル」を全職員が周知徹底するように努め、居室の鍵の開閉を利用者本位にする等個別ケアに取り組んでいる。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	管理者、職員間に報連相がとり易い関係を作り、虐待の疑いがある場合は速やかに報告があるような体制を築いています。入居者様への発言にも注意し、入居者様に対して例え敬語でなくとも尊敬の念を持って発言するよう指導しています。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	管理者は学ぶ機会があったが職員にはあまり機会がないので、勉強不足な状態です。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時には重要事項の説明も含めて契約書を見ながら口頭にて行い、疑問点にはその場で答え、契約期間中での料金改定時には予め書面にて確認した上問い合わせには管理者が誠意を持って対応しています。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	ご家族様が来訪された際にはご意見やご要望はないか声掛けにて確認し、ご意見等あれば速やかに管理者に報告しています。ご家族様のご要望には真摯に対応しています。入居者様のご要望も対応できる物に関しては速やかな対応をしています。	家族の面会時や運営推進会議等、機会を捉えて意見や要望を聞くようにしている。得られた情報は職員に伝達し、話し合いながら運営に反映させている。帰宅願望の利用者の思いを汲み取りながら、家族と連携しホームでの生活を築いた例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃から職員と管理者が密に連携を取る事が出来る関係を心掛け、職員の声に耳を傾け社長に報告しています。</p>	<p>毎月行われるミーティングの中で職員の意見や提案を聞き、反映させており、「朝食の内容にもう少しボリュームがあったら」の職員提案を反映し、品数を一品増やした例がある。また、管理者が日頃から職員と何でも言える関係づくりを心掛けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員ごとの仕事に対する思いをくみ取り、無理なく勤務できるようシフト編成を行い、職員のがんばりを評価する様にしています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内研修への参加希望者が研修に出る事が出来る様にシフト編成を行い、日常業務で気になった事は管理者と話し合い疑問に思った事はすぐに解決するよう努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>特別な取り組みはできていません。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の面談時からご本人様が不安に思っている事をゆっくと聞いて、先ずはご本人様の性格等も理解出来る様に努め、入居してからもご本人様の意見を否定せずある程度満足できるまでお話を聞いて信頼して頂ける様に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様がなぜホームへの入居を検討されているのかを良く聞いて、これまでの努力に敬意を表し、質問やご意見を出しやすい様に話を進めています。質問に対してはできるだけ曖昧な返答は避け、はっきりと自信を持った対応をし、安心して頂けるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	在宅での対応で十分と判断した場合は、居宅や地域包括と連携を取りどのようなサービスを利用すればご家族様、ご本人様の負担を軽減し穏やかに過ごせるか話し合う様にしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様の生活歴や現在の身体状況を鑑みて、出来る事はできるだけ御自分でやって頂き、レクリエーション等を通じて共に楽しみ、家事のお手伝いで役割を持って頂く様に努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	なかなか施設に来て頂けないご家族様にはこちらから連絡し来訪を促し、頻繁に来訪されるご家族様には負担にならない程度の来訪をお勧めしています。普段の施設での生活は偽りなく報告しますが、ご家族様から入居者様への叱責は認知症の方への基本的な対応を説明して控えて頂くようお願いしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居時に来訪の可能性がある友人がおられればお名前を確認しておき、来訪時にスムーズな面会ができる様にしています。馴染みのお店には御家族様との関係も考慮して、ご家族様にお連れして頂く様にしています。	友人や馴染みの理・美容院の来訪や銀行員等の訪問もあり、職員は茶菓子を出したり対応に配慮している。また、知人宅を散歩しながら訪ねたり、今までの行きつけの店に家族と出かける支援をしたり、日常的に、馴染みの人や場所との関係継続支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	相性が良い入居者様も悪い入居者様もおられるので、良い方はそのまま、相性が悪い方同士がお話ししておられたら喧嘩にならない様に注意深く見守り、スタッフが間に入りトラブルを未然に防ぐ。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設に転居される時は担当者へのフェイスシートを提供しています。また口頭でご家族様の性格やご本人様の施設での生活状況をお話しさせていただいています。入院での退去の際はお見舞いに行ったり、引っ越しのお手伝い等をさせていただきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様毎に担当職員が聞き取りを行い、入居者様のご意見やご要望は管理者に報告され、必要であれば御家族様へ連絡を取る等、出来る限りご要望は実現できるよう努力しています。	職員は日々の関わりの中で利用者お一人おひとりに声をかけ、思いや意向の把握に努め、全職員で共有しながら、個別支援に結び付けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様から出来るだけ詳しいお話を伺い、その後ご本人様からお話を伺い、ご本人様が特に印象に残っている事を職員に周知しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々接する職員からの記録や報告を元に入居者様を観察して、判断しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	御家族のご希望と、入居者様の要望を取り入れて、スタッフ、看護師、計画作成担当者、管理者がカンファレンスを行い作成しています。	日々の記録や利用者毎の担当者から希望や状況を収集して、介護計画の素案を作成し、他の職員・利用者・家族・関係者から意見等をもらい、カンファレンスで検討し、修正した介護計画となっている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	日々の記録とは別に職員間の連絡ノートを作製。1日2回の申し送りも反映させて、計画作成の参考に使っています。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	入居前から行っていたデイサービスで友人に会いたいとのご希望があったので通って頂いたり、自社の理学療法士に残存機能の確認をしてもらい、サービスの参考にしました。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	散歩のついでに買い物をしたり、ご家族様の許可があれば銀行、郵便局に同行したり、行事があれば保育園に伺う等している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	通院は基本的にご家族様に対応していただいていますので、可能な方は自由に通院して頂いています。ご家族様が通院対応困難な場合は施設にて、必要に応じた通院介助をしております。	基本的には、月2回の指定医の往診と、週1回の歯科医による往診がなされているが、ご家族や利用者の希望に応じて、かかりつけ医の受診支援も行われている。その際は、家族同行の受診となっているが、困難な場合は職員の代行もする等柔軟に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎朝決まった時間にバイタルチェックを行い数値に異常があった場合には速やかに看護師、管理者に報告。緊急性が高い場合には津谷内科の中村先生の指示を仰いで対応しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>現在のところ長期入院から帰園したケースはありませんが、入院時は事情に明るい職員（看護師、管理者）が同行し、ご家族と共に医師に病状説明し、早期治療に役立てるようにしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>これまでターミナルの方や重病の入居者様はおられませんでしたので、職員との相談は不十分です。</p>	<p>入居時に、利用者や家族と重度化に伴う意思確認書を取り交わし、事業所でできることを十分に説明して方針を共有している。今のところ、ターミナルケアの利用者はおられないが、今後、ターミナルケアに向けた研修等を考えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>転倒時の対応等は口頭にて説明してあり、概ね全職員が応急処置はできますが、対応が分からない場合は症状が軽度である可能性があっても24時間速やかに管理者に連絡するよう指導しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練等は実施していますが、未だ不十分と思われまます。</p>	<p>消防署の指導を受けながら、年2回の避難訓練を実施している。</p>	<p>年2回の消防訓練は行われているが、今一度、災害を想定した実践的な訓練を積み重ね、確実な避難誘導が出来る様、さらに町内会等地域住民の協力体制づくりの構築に取り組む事を期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
指導を					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居室に訪問する時は必ずノックを少しし間を開けて入室するよう指導しています。排泄介助に関しては必要最低限とし、排泄中は席を外すよう指導しています。	接遇マナー研修を徹底し、介護上でのプライバシー保護については十分に注意を払っている。特に排泄や入浴介助時は本人の立場に立ち自尊心を傷つけないケアを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	10時や15時の水分補給の時はその時飲みたい物を提供出来る様入居者様に確認したり、入浴もできるだけ入居者様のご希望に沿える形で行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床の時間や就寝時間は特に決めずにこれまでの生活環境を考慮して比較的自由にして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	女性の入居者様には乳液や化粧水を準備する等しています。訪問での美容院ではパーマやカラーの対応もして頂いています。洋服も着たきりにならない様、毎日更衣して頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は配食センターから配達して頂いているが、できるだけ個人の好みや力が反映できるようにおかずを足したりはしています。	食事については、グループ内の配食サービスを利用しているが、季節のメニューを基本に、誕生日等の特別の日には、利用者の食べたい物を聞き、好きなおかずを一品増やしたりするなどしている。また、誕生日には手作りケーキを皆で作って、職員は利用者とは話を楽しみながら、楽しく支援されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>特に水分摂取量が少ない入居者様に関しては少量を何回も提供したり、2週間に1度体重測定を行い体重の管理も行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>声掛けをすれば御自分で口腔ケアは可能な入居者様がほとんどだが、毎週往診に来て頂いている今田歯科様と連携を取り、介助が必要な入居者様や薬を塗布しなければならない入居者様には介助も行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄のリズムを見てスタッフが声掛けを行い，失敗が無い様にし，もし失敗しても他の入居者様に気付かれない様に対応しています。</p>	<p>利用者一人ひとりの排泄パターンを職員全員で把握し，出来るだけトイレに行って排泄してもらう様にしている。排泄が失敗しても，本人が恥ずかしくない様に配慮し対応している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>定期的な排便ができる様に，水分補給を徹底したり，乳製品を摂取して頂いたりしています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>最低週2回を目処に入居者様のご希望を確認し，当日の体調も考慮して入浴して頂いています。また女性入居者様にはできるだけ女性スタッフが対応出来る様にシフト編成も注意しています。</p>	<p>週2回の入浴が基本であるが，毎日でも，そして，午前中か午後2時～3時の間，利用者の希望や体調に合わせて入浴支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間は特に決まっていませんので個人の眠気に応じて対応しています。夜間の巡回は入居様を起こさない様に注意して行っています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬時は入居様の目の前で袋に書いてある名前、時期を読み上げ、袋を破り、飲み込むまで必ず職員が見守っています。薬に変更があった場合は看護職員からスタッフへ申し送りがあります。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>日々発生する家事は無理なく楽しく出来る範囲でお手伝いして頂いています。施設でのレクリエーションに関しても偏りが無い様に提供しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天候やスタッフの配置状況に応じて散歩に出たり、買い物に出る程度は日常的に行っていますが、現状の人員状態では遠出は難しい状況です。</p>	<p>利用者の体調や希望に添って、近隣公園の散歩やコンビニ・地域の商店での買い物等、支援に努めている。家族と一緒に出かけられる様支援もしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族様と相談し1万円程度の現金を所持して頂いている入居様もおられますが、物盗られ妄想が酷い入居様にはトラブル防止の為自重して頂いています。各ご家族様よりお預かりしている金銭に関しては随時ご家族様と相談しながら使用しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>お手紙はご家族様と相談しながら入居者様にお渡ししたり、ご家族様に転送しています。電話に関してはご家族様から禁止されていない方はスタッフに伝えて頂き自由に使用して頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>定期的に清掃し、清潔を保つと共に、ダイニングではテレビを見て頂いたり、音楽鑑賞して頂く等寂しくない様に、またうるさくない様に配慮しています。日中でも曇りや雨の日の日には電気をつけ暗くならないようにしています。</p>	<p>共用空間は明るくて広く、掃除も行き届き、居心地よく過ごせるような配慮をしている。また、1階のベランダではゆったりとお茶を楽しめる様にテーブルと椅子が置かれている。畑で、玉ねぎ・じゃがいも・きゅうりなど多くの作物を作り、収穫し、食卓に載せるなど季節感を採り入れる工夫もされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルでは4～5人が歓談でき、ソファでは2～3人が座って話せる様にしてあります。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>出来るだけ入居前から使用していた、家具を持ち込んで頂いています。またレイアウトも出来るだけ入居前の状態を再現できるようにしています。</p>	<p>使い慣れた寝具やタンス・ベット・机・テレビ等本人の馴染みの物を持ち込んだり、本人の手作り作品などを飾っている。また、自宅と同じようなレイアウトにする等居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>特にトイレと間違えて他の入居者様の居室に入ってしまう入居者様の居室には、居室からトイレまでの経路にカラーテープを貼って、できるだけ間違いが無い様にしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 平成24年 12月 27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害を想定した実践的な訓練が不十分であり地域住民との協力体制も不十分である。	速やかに安全、確実な避難誘導が行える。 災害時に地域の方にごの様に協力して頂くかを周知しておく。	避難マニュアルの策定 実践的な避難訓練の実施。 町内会の集まりに参加した時をお願いする。	半年以内
2	4	市の担当者の運営推進会議への参加が無い。	年に1回でも参加して頂く	会議の案内を早めに持参する等して出席の要請をする。	3ヶ月以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

|